



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：（水害に強い街づくり）

【事業の概要】

- (1) 国土交通省河川砂防研究開発制度の3か年の委託研究「産官学民協働の水害に強い街づくりのためのリスクコミュニケーション手法の構築」（2年目）を推進する。
- (2) 甲府市大里地区の地区防災計画策定に向けたリスクコミュニケーション
- (3) 中央市リバーサイドタウンの地区防災計画策定に向けたリスクコミュニケーション
- (4) 避難行動要支援者の避難支援体制の構築
- (5) 避難シミュレーション

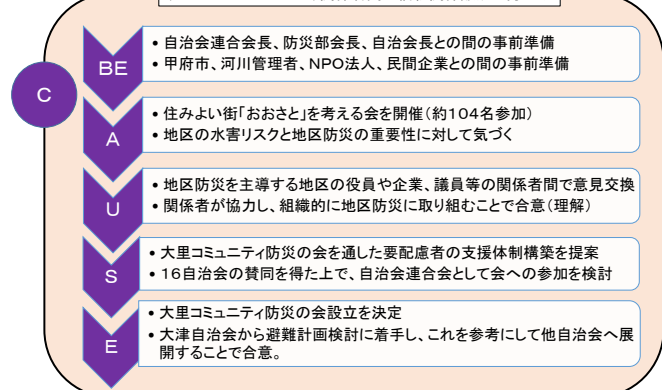
【役割分担】

- (1) 山梨大学は甲府市大里地区，中央市リバーサイドタウンの地区住民，甲府市，中央市等とのリスクコミュニケーションを推進し，地区防災計画立案を支援する。
- (2) 国土交通省甲府河川国道事務所は，国直轄管理河川の想定外最大規模の降雨に基づく氾濫シミュレーションの結果を山梨大学に提供する他，リスクコミュニケーションに協力する。
- (3) 山梨県は，県管理河川の想定外最大規模の降雨に基づく氾濫シミュレーションの結果を山梨大学に提供する他，リスクコミュニケーションに協力する。



地区防災の会

すべてのプロセスにて、関係者間の信頼関係醸成に努める



平成28年度に実施したリスクコミュニケーション



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：データ駆動型地域マネジメント講座

【事業の概要】

連携先：山梨県総合政策部 地域創生・人口対策課他

目的：エビデンスベースの地域マネジメントを行える人材の育成。

企業の事業展開支援

内容

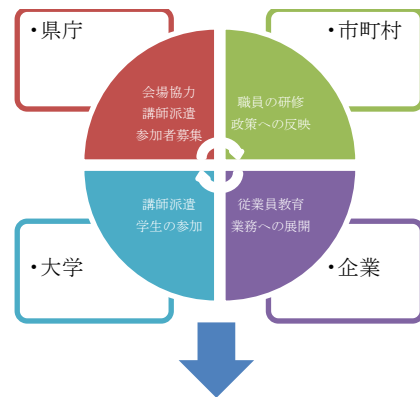
- (1) RESAS等のデータベース活用方法についての講座を開催
- (2) 基礎的な使い方と具体的なニーズに対応した追加的データ収集・分析手法
- (3) ニーズ等を踏まえたエビデンスベースの政策提案

【役割分担】

- (1) 県庁：会場協力，情報提供，参加者の募集
- (2) 市町村：参加者の募集，ニーズ提供
- (3) 大学：講師の派遣，学生の参加
- (4) 企業：従業員の参加，ニーズ提供



昨年度実施した地域経済分析システム（RESAS）講座



地域マネジメントと活性化・就業機会創出支援



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

基幹事業：道路橋の維持管理システムの高度化

【成果の概要】

- (1) 山梨県の管理する道路橋を対象に、構造性能に基づいたグレーディング評価の試行を行った。
- (2) 山梨県メンテナンス会議に参加し、情報交換を行った。
- (3) 山梨県メンテナンス講演会の後援を行うとともに、基調講演を行った。

【今後の展開】

- (1) 道路橋の維持管理について、山梨県と、国、市町村との更なる連携を模索する。
- (2) 道路橋の維持管理に関するデータベースの高度化案を作成する。
- (3) 道路橋の性能評価法の高度化について検討を行う。

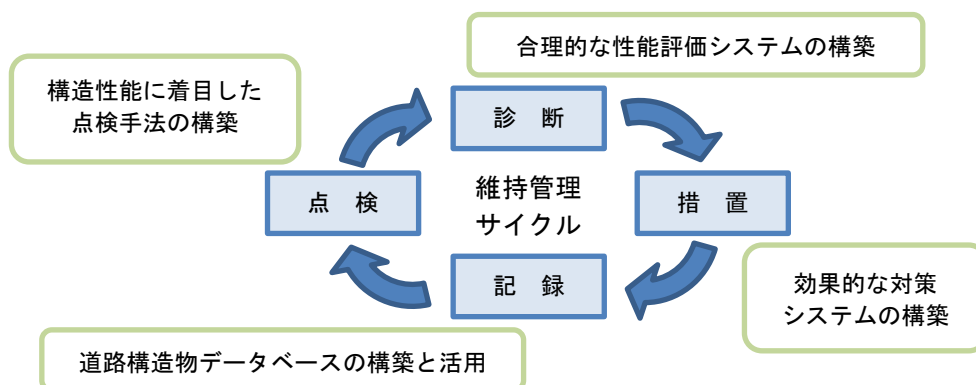


図 道路構造物の維持管理システムの高度化



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画:道路橋の維持管理システムの高度化(3年目)

【事業の概要】

山梨県内における道路構造物(主として橋梁およびトンネル)を対象とした維持管理システムの高度化に向けた検討を行う。

- (1) 国, 県, 市町村による道路構造物の維持管理に関する地域連携のあり方について検討する。
- (2) 道路構造物のデータベースの構築と活用について検討する。
- (3) 構造物のより合理的な点検および性能評価システムの構築について検討する。
- (4) 構造物の効果的な対策システムの構築について検討する。

【役割分担】

- (1) 県の役割: 国および市町村との調整を行い, 地域の現状の把握と共通認識の構築を目指す。
- (2) 大学の役割: 維持管理に関する学会, 国, およびその他の地域における取組み事例等の情報提供を行うとともに, 維持管理に関する教育および技術的課題の解決に取り組む。

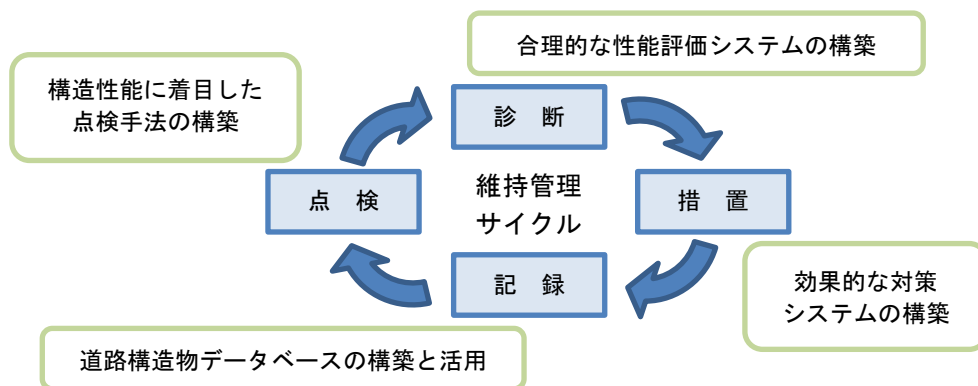


図 道路構造物の維持管理システムの高度化



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

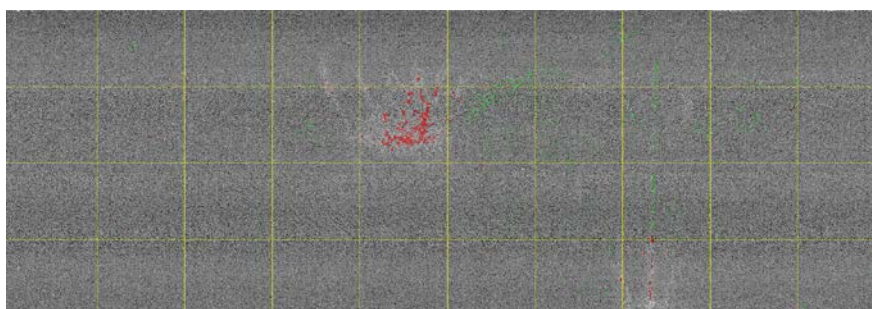
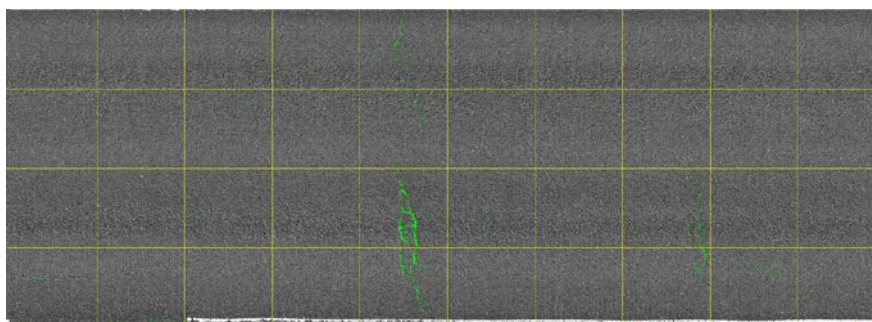
基幹事業：地域の発達と情報 -道路舗装路面画像からの クラック抽出技術の開発-

【成果の概要】

- (1) 舗装路面画像からクラックを精度良く抽出するための画像処理を開発し、その結果をカラー画像により分かりやすい形で提示することができた。
- (2) 上述した画像処理の演算時間を10mの距離に対して200秒から15秒に短縮することができた。これにより実務での道路路面の点検等においても本手法を適用できるものと期待している。

【今後の展開】

- (1) これまでは高速道路で計測した舗装路面画像のみを対象としていた。今後は山梨県内にある国道・県道等で撮影した路面画像についても本手法の有効性を検討したい。
- (2) 画像上で抽出したクラックの大きさ・形状等から、路面の健全度を定量的に評価する指標を構築する。





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

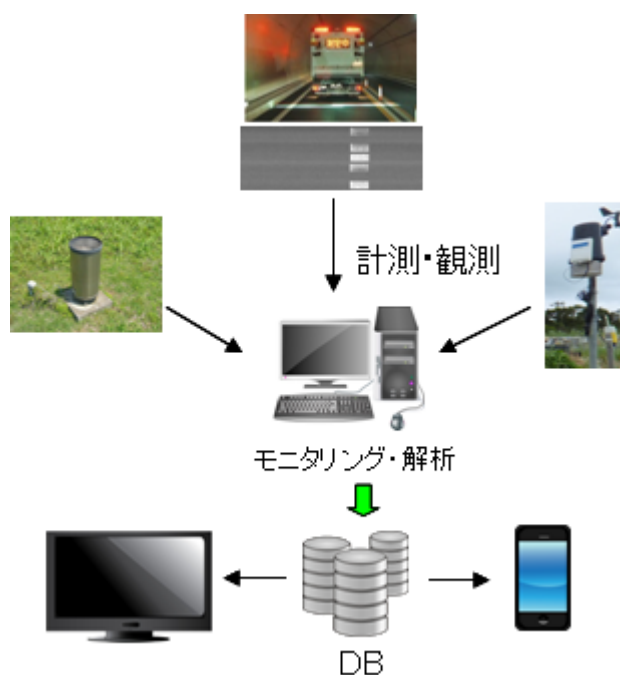
平成29年度事業計画：地域の発達と情報 -社会基盤施設の健全度評価に関する クリアリングハウスの構築-

【事業の概要】

- (1) 橋梁，斜面，道路等の社会基盤施設の健全度を評価するための技術を確立する。
- (2) 評価結果を一元化し，クリアリングハウスのプロトタイプを提示する。
- (3) 評価結果をベースとして，災害・事故などの非常時における社会基盤施設の性能を予測する技術を開発する。

【役割分担】

- (1) 県・市町村での社会基盤施設の実計測（国あるいは県・市町村に協力依頼）
- (2) 社会基盤施設のデータ提供（国あるいは県・市町村）
- (3) 社会基盤施設の健全度を評価する技術の開発（大学）
- (4) 社会基盤施設の健全度評価結果を一元化したクリアリングハウスの構築（大学）
- (5) 社会基盤施設の性能予測技術の開発（大学）





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日
国立大学法人 山梨大学

基幹事業：山梨防災教育研究会

【成果の概要】

- (1) 実践的な防災訓練を全県的に普及展開させるための推進方策を検討した。2012年以降実施してきた山梨県教育委員会の実践的防災教育推進事業との関わりの中で、「緊急地震速報を活用した抜き打ち避難訓練ガイド」を制作した。本ガイドブックは、経験の無い学校や教員に活用されることを念頭に作成した。
- (2) 南アルプス市白根源小学校をモデル学校として、治水・砂防関連の防災教育指導の実践が行われた。

【今後の展開】

- (1) 7月開催の新防災リーダー&地震防災対策研修会、8月開催の防災教室等においてガイドブックを活用し、実践的な避難訓練の普及に取り組む。平成29年度、県下の全小中学校での実践的な避難訓練の実施を目指す。
- (2) 昨年度に引き続き白根源小学校をモデル学校として指導の実践を行い、地域の災害の歴史と防災を学習するための指導案を作成する。他地域に展開可能なモデルについて検討する。

実践的避難訓練ガイド

治水・砂防関連の防災教育指導の実践

緊急地震速報を活用した 抜き打ち避難訓練ガイド

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター
山梨防災教育研究会

平成29年〇月





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日
国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：

小学校における地域の災害の歴史を踏まえた防災教育の展開 (新規，単年度)

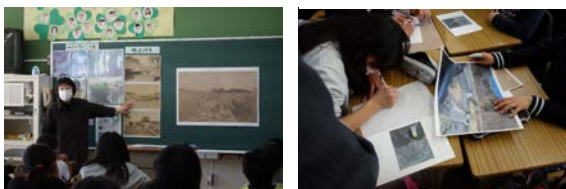
【事業の概要】

- (1) 白根源小学校をモデル学校として指導の実践を行い，地域の災害の歴史と防災を学習するための指導案を作成する。
- (2) 他地域に展開可能な防災教育モデルについて検討する。

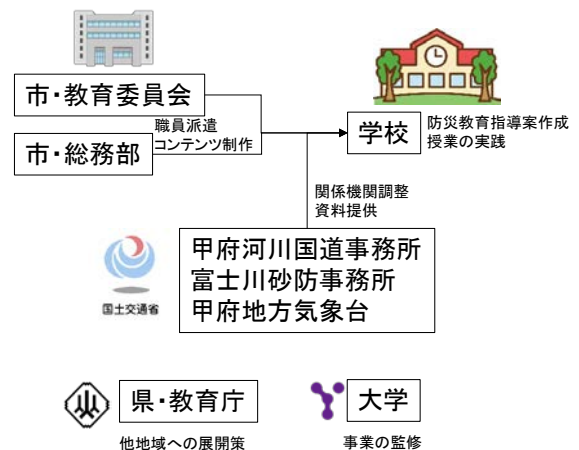
【役割分担】

- (1) 白根源小学校，南アルプス市：防災教育指導案の作成，授業の実践
- (2) 国土交通省：関係機関の調整，資料提供
- (3) 県教委：他地域への展開策
- (4) 大学：事業の監修

治水・砂防関連の防災教育指導の実践



事業のイメージと役割分担





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：

学校における実践的避難訓練普及啓発事業（新規）

【事業の概要】

- (1) 小学校・中学校・高等学校の現場で活用可能な実践的な避難訓練のガイドブックを制作する。
- (2) 7月開催の新防災リーダー&地震防災対策研修会、8月開催の防災教室等を利用して、実践的避難訓練の普及啓発を行う。
- (3) 全県的な実践的避難訓練の普及を目指す。

【役割分担】

- (1) 県教育庁：ガイドブック制作，研修の実施，全県的な普及方策の検討
- (2) 大学：ガイドブック制作，事業監修

実践的避難訓練ガイド

緊急地震速報を活用した 抜き打ち避難訓練ガイド

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター
山梨防災教育研究会

平成29年〇月

普及啓発





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日
国立大学法人 山梨大学

基幹事業：自主防災組織・活性化特別推進事業

【成果の概要】

- (1) 本事業の実施を希望し、かつ市町村からの推薦のあった自主防災組織（14地域）に防災アドバイザー等の支援チームを派遣して、防災マップ作成や災害図上訓練（DI G）、避難所運営ゲーム（HUG）などの研修を、地元の市町村とともに実施した。
- (2) これらの取り組みを通じて、モデルとなる自主防災組織の育成及び他の自主防災組織に優れた取り組みの紹介を行った。

【今後の展開】

- (1) 本事業は28年度をもって終了した。（26、27、28年の3ヶ年の事業）
- (2) 今後は市町村を通じて、本事業で支援した自主防災組織の取り組みを他の自主防災組織に普及させるなど、県内自主防災組織の活性化に努め、もって地域防災力の強化を促進していく。





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：甲斐の国・防災リーダー養成講座

【事業の概要】

防災に対する知識・技能を有し、地域における防災啓発活動や住民主体の防災対策を積極的に推進できる人材を養成し、地域全体の防災力を強化することを目的として、山梨県、市町村及び山梨大学が連携して実施する。

養成講座 ・ 平日コース4日間 募集人員80人

・ 休日コース4日間 募集人員60人

【役割分担】

- (1) 山梨大学は、スケジュール及びカリキュラムの作成、実施日程の決定、教材等の作成、講師の選定・派遣等の養成講座の企画、養成講座の実施及び養成講座実施結果のとりまとめ及び報告などを行う。
- (2) 山梨県は、市町村と連携した受講者の募集及び受講者の決定、教材の印刷、所定レポートの収集及び確認、日本防災士機構との調整、受講料の収入などを行う。
- (3) 市町村は、受講者の募集及び推薦を行う。

◆甲斐の国・防災リーダー養成講座

